

はなだより とむろ



発行人
社会福祉法人康仁会
特別養護老人ホーム「はなの家とむろ」
〒243-0031 神奈川県厚木市戸室5-9-15
TEL.046-225-8787 FAX.046-225-8711

はなの家とむろ らしさとは… 特養に求められること

新年度になり、ニュースで報道されているように介護報酬の改定が4月より行なわれました。基本的に特別養護老人ホームでは、原則として要介護3以上の方を受け入れることとされ、要介護1、2の方は「独居や同居家族が病弱などで家族だけでは介護しきれず、かつ地域の介護サービスが十分でない」というような「特例入居者」と判定された方以外入居できない仕組みとなりました。今回の改定は、中重度者に対するケアを手厚くするという内容だと言われていますが、加算を取得するにはハードルが高く、特養をはじめとした介護保険事業所には大変厳しい改定だったと言えます。

特養は、公益性の高い事業ということで社会福祉法人でなければ運営することが認められていません。それは、市民の皆様から見て透明性かつ公平な運営がされていることがはっきりわかることを求められているということ、また介護保険事業を通して、その周辺領域で社会貢献をする役割を求められている事業体なのではないかと感じています。

はなの家とむろでは、これまでも「地域にあってよかった」と言っていただけの施設を目指し、できる限り重度の方や医療依存度の高い方など、他では受け入れの難しいとされる方を積極的に受け入れるよう努力してまいりました。合わせて、地域包括支援センターと協働で地域講座を開催したり、施設の開放を行うなどできる限り地域に対し協力するよう努めてまいりました。さらにどのような形で貢献できるのか、地域の方とコミュニケーションを図りながら考えていく必要があると考えております。

介護保険事業者、社会福祉法人の両方の顔を持つ当法人としては厳しい時代になったと感じています。しかし、社会情勢や法の動向などをしっかり見極め、運営の健全化を図り法人や施設としての役割を果たすことが、地域に貢献できるための基盤になると信じて、職員一同気を引き締めてまいりたいと思います。

生活支援課長 北島 揚子



地域講座【はなはな健康塾】の様子



地域のミニテにて



認知症を予防するには 認知症予防の3つのポイント

看護部だより
No.1

☆認知症は誰でもなる？

早く認知症になる人もいれば、いつまでもならない方もいます。認知症は年を取ればだれでもなるわけではなく、ならない人はなりません。認知症は病気なのです。

☆種類はいろいろ

- アルツハイマー型認知症(半数以上)
 - 脳血管性認知症
 - レビー小体型認知症 など
- 適度な運動や趣味は認知症の予防に役立ちます。

☆運動は認知症の発症数を減少させます。

- 一日合計30分以上歩きましょう。
- *歩きながら(頭の体操)を組み合わせると効果的。
- 例えば：4の倍数の時に手を叩くなど。

☆食事は和食中心に！

- 魚(青魚)週2回以上は食べましょう
- 野菜と果物 納豆もおすすめ
- 塩辛いものは控えめにしましょう

☆社会活動には積極的に参加しましょう！

- 読書、ゲーム、楽器演奏、ダンス などおすすめ
- 趣味を持つ、料理をするなど社会の役割を持つことも大切です。



看護師長紹介



3月末で内田由美師長が退任したことに伴い、4月より石田政代師長が着任しましたのでご紹介させていただきます。

私が施設で働く事を選んだのは父を施設で見送ったことが一番の理由です。父は末期の食道癌でしたが、当日の朝まで家族と話し最期まで父らしいと感じさせる姿で逝きました。それは父はもちろん家族の事も大切に考えてお世話をして頂いた介護の方、時折揺れる家族をしっかり支えてくださった看護師の方の存在があったの事と思っています。病院での今までの経験を生かしつつ私も利用者の方とご家族の気持ちに寄り添った看護が出来るよう頑張ります。

ありがとうございました。

昨年度、次の方からご寄付をいただきました。施設の発展のために大切に使用させていただきます。職員一同心からお礼申し上げます。

河野 昌史様 成澤 みち子様 匿名1名様

特別養護老人ホーム はなの家とむろ

〒243-0031 神奈川県厚木市戸室5-9-15
TEL.046-225-8787 FAX.046-225-8711
URL: <http://koujinkai.tomei.or.jp/>
E-mail: tokuyo-info@tomei.or.jp

笑顔添えて 心に寄り添うところ

スタッフの一言

●編集後記●

春といえば出会いと別れ、進学や入職と新しいスタートを迎える季節ですね。私にも初めて後輩ができ、身の引き締まる思いで一杯です。今年度も私らしく、そして頼られる先輩になれるよう頑張っていきたいと思います。

H26年度サービス満足度調査 結果報告書

H25年度に引き続き、施設で取り組むべき課題の把握や施設サービス改善、向上を図ることを目的に「サービス満足度調査を行いました。今年度はデイサービスにおいても調査を行うと共に、新たにサービス別の設問を加えました。今号では、調査結果を掲載させていただきます。

◎実施方法

- 配布期間：H27年1月9日～2月13日
- 配布方法：郵送及びデイサービス送迎時に配布し、1階事務所前に回収ボックスを設置
- 配布数及び回収率：長期入所：86名 回収率：58%
短期入所：45名 回収率：47%
通所介護：38名 回収率：82%
全体：169名 回収率：60%

◎結果

全サービス共通の項目

1. 職員の接遇・説明と相談について

図1 来所時の挨拶

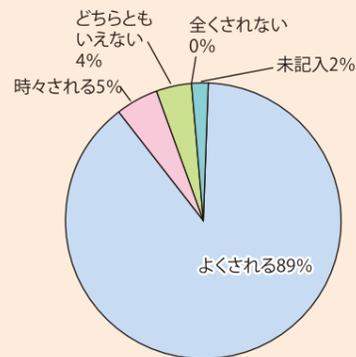


図2 職員の言葉遣い

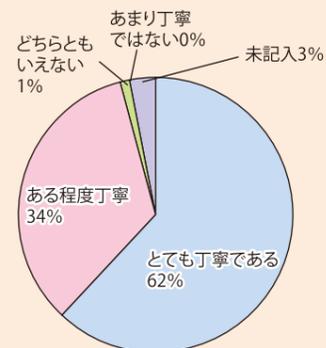


図3 話しかけやすさ

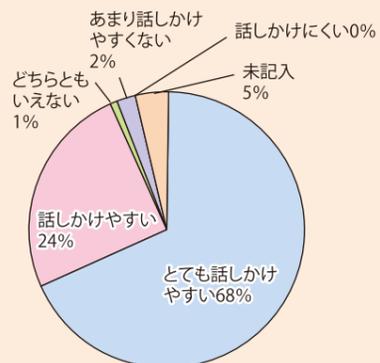
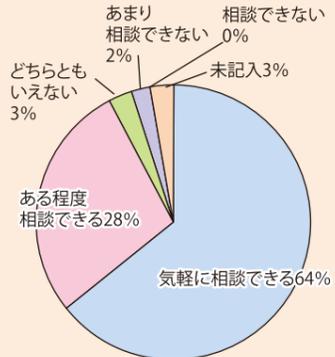
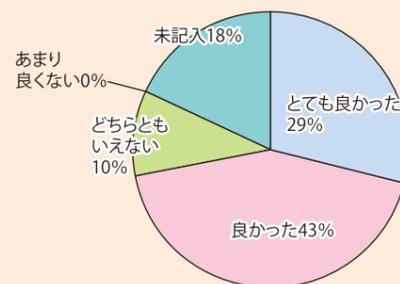


図4 相談の気軽さ



短期入所

図16 ご利用してみていかがですか



自由記載欄におけるまとめ

ご利用の満足度、サービスの内容については、概ね好意的な評価を頂きました。具体的なご要望やご意見をいただきましたので、これを参考に余暇活動の充実を図っていきたくと考えております。

その他、『利用中の様子をもっと知りたい』というご意見をいただきました。今後、ご報告の仕方について職員で検討を行っています。また、利用の際は同じ部屋をご利用したいというご希望もありましたが、利用者様のご状態を総合的に考えて、お部屋の位置を決めさせていただいておりますことをご了承ください。

デイサービス

図17 プログラムの内容について

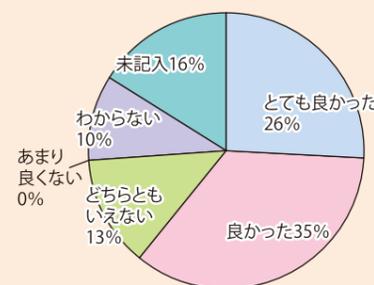


図18 サービス提供時間について

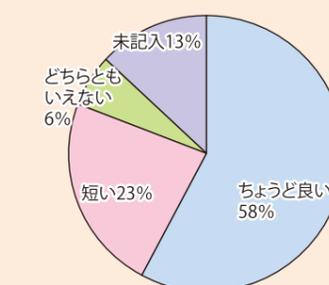


図19 作品展について

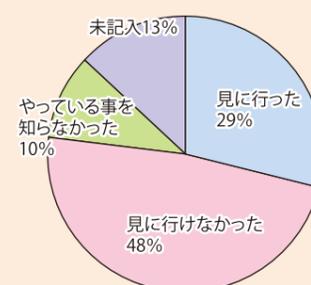


図20 内容について

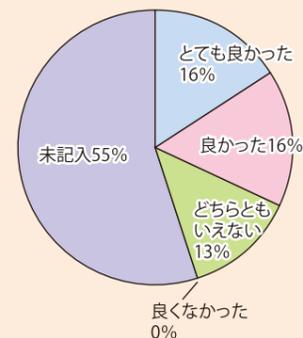
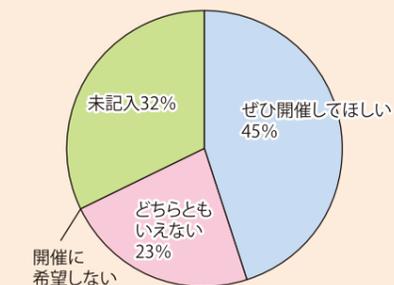


図21 今後の開催について



自由記載欄におけるまとめ

プログラムの内容については概ね好意的な評価を頂きました。

サービス提供時間の延長に関しては、長時間のご利用が体力的に難しい方もいらっしゃるため、慎重に検討させていただきます。

作品展に関しては、『良かった』という声をいただき、今後へ繋げていきたいと考えております。

まとめ

全体を通して、接遇や説明等前年度と同じ設問に関しては、概ね好意的な評価をいただけていることが分かりました。この結果に甘んじることなく、一人一人が意識しながらサービスの質を維持していきたいと考えております。

また、結果を通じて取り組むべき課題や改善点について把握することができました。結果を基に、サービスの質の向上へ繋げていきたいと考えております。満足度調査時だけではなく、日頃よりご本人、ご家族が相談できるよう話しやす環境・関係作りを目指していきます。

ご協力ありがとうございました。

図5 対応の迅速さ

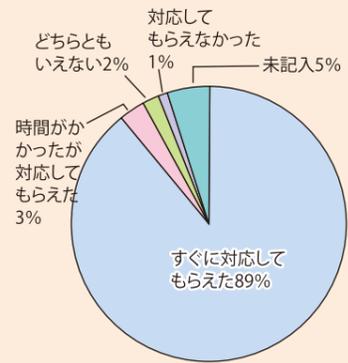


図6 対応の親切さ

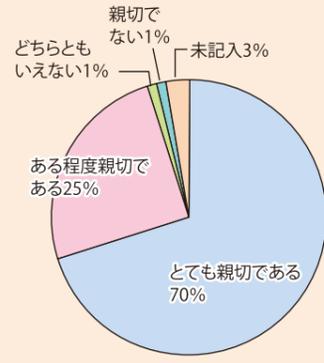
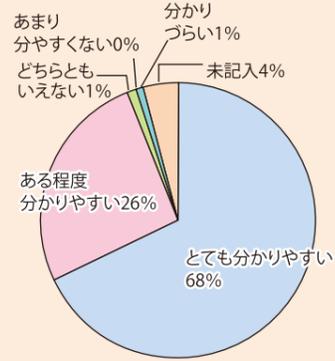


図7 説明の分かりやすさ



2. 食事について

図8 食事の満足度

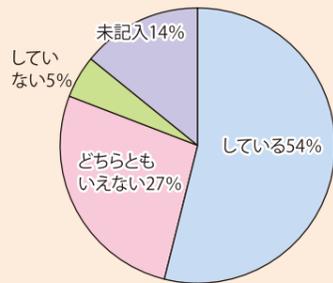


図9 少ないと答えた方の感想

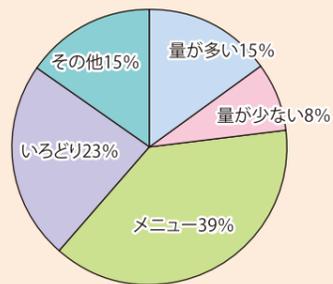
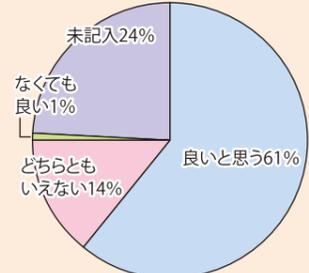


図10 選択メニューについて



自由記載欄におけるまとめ

先日、「週に1回くらいファミリーレストランのような食事が出ると良い」というご意見をさっそく給食委員会で検討させていただきました。今後もメニューの充実を図るため、業者と委員会で検討を行っていきます。選択メニューについては、概ね好評の感想をいただき、今後も定期的に行く予定です。

3. 設備・環境について

図11 清掃の行き届き

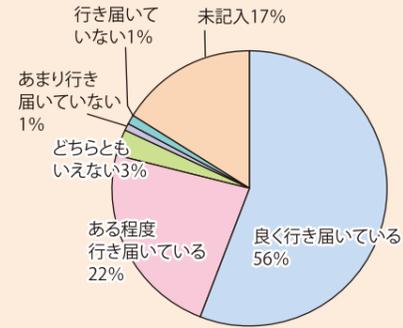
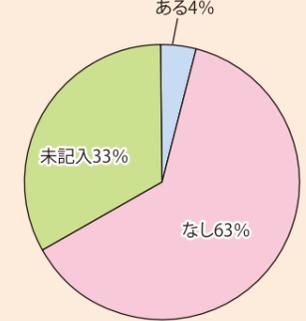


図12 設備・環境の不便さ



自由記載欄におけるまとめ

清掃については、概ね行き届いているという評価を頂きました。その一方で自室の清掃について気になるというご意見もあり、頂いたご意見やご要望は適宜、毎月行っています清掃ミーティング等で対処していきます。

長期入所

図13 知っている施設行事について

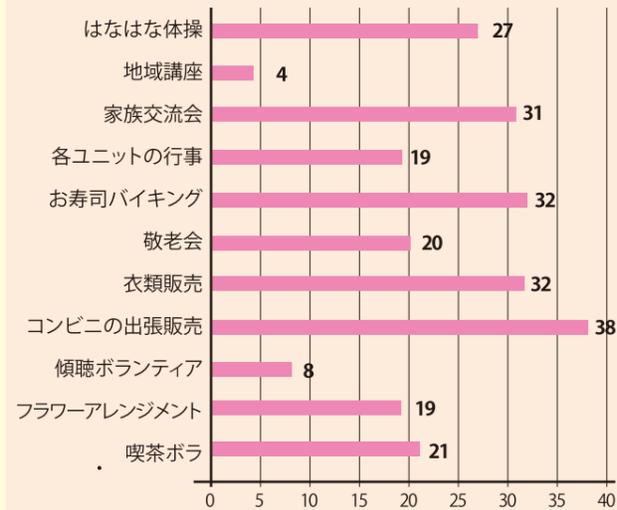


図14 施設行事の参加の有無

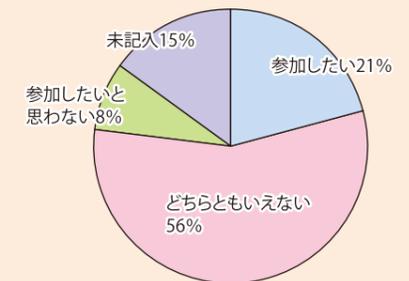
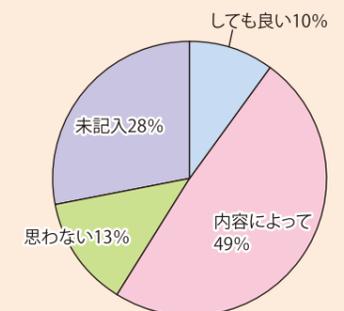


図15 行事のお手伝いについて



自由記載欄におけるまとめ

多くのご家族の方に、施設行事を知っていただけていることがわかりました。今後も施設での取り組みの「見える化」に努めてまいります。

また『行事のお手伝いをしても良い』という声をたくさんいただき嬉しく思っております。より良い行事や余暇活動の運営を行っていくためには、ご家族のご協力が必要な場合があります。宜しくお願い致します。